

令和6年度放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月24日

事業所名：学びの広場じゃんぷ 保護者等数31 回収数30 割合 96%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	84%	10%	3%	3%		設備基準を満たしている広さではありますが、狭いと感じる方もいらっしゃるかと思います。グループでの公園遊びなど、室外・室内の活動を工夫して組み合わせ、室内の活動に必要なスペースを確保して取り組んでいます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	65%	10%	6%	19%	・じゃんぷはどうか？もちろん専門性はあります。先生方がとても忙しいのでな〜と感じます。	配置数も基準を満たして職員を配置しています。また日々の実践の振り返りをしながら支援に臨んでいるところですが、より専門性を高めていけるよう研鑽してまいります。
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	68%	3%	0%	29%		車いすでもスムーズに入り・移動できるよう配慮しております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	90%	6%	3%	0%		支援計画の検討会議をかならず開くようにして、職員全員で検討しています。支援項目や支援内容を面談の中で分かりやすいように伝えるとともに、保護者様のご意見を反映させて作成するようにしているところですが、保護者様一人ひとりの思いを聞き取りできるよう努めてまいります。
	5 活動プログラム*が固定化しないよう工夫されている	77%	16%	0%	6%		
	6 障害のない子どもと活動する機会を設けている	23%	16%	16%	45%	・何かの活動に参加しましたか？ ・まだ未経験かと思えます。	公園など、地域のお子さんと一緒に過ごす中で、事故のないよう配慮しながら関わりを大事に支援しています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	81%	16%	3%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができています	84%	13%	3%	0%	・話し合いはできています。 ・本当にいつもありがとうございます。急な面談にも対応して頂いたり、母のプチ暴走を止めて頂いたり、親子のわがまを聞いて下さったりと感謝しかございません。	保護者様の不安や悩みについてなどLINEやお電話でお聞きする中で、できるだけ早く対応できるように努めて参ります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	94%	0%	3%	3%		個別に必要な場合は、家庭相談の時間を設定して保護者様と向き合い、受け止めたり助言をしたりしてより良い方向へ向かえるよう一緒に考えていきたいと思っております。
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	68%	10%	3%	19%	・改善はされてきていると思う。	苦情受付体制を整えるとともに、契約時に保護者様に説明をしているところではあります。事業所内に掲示する等、苦情受付体制の案内を進めてまいります。
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	87%	10%	0%	3%		
	12 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	55%	10%	10%	26%	・すべてと違い勉強中心かとおもいますが、連絡帳だけでは伝わらない部分があるので時々会報があればな〜と思います。	ブログは週1回の更新を目指しておりますが、更新が不定期になっており、申し訳ありません。通信等を考慮して、より具体的に活動の内容などがわかるよう発信方法を考えてまいります。
	13 個人情報保護に十分注意しているか	77%	10%	3%	10%		
非常時 等の 対応	14 緊急時等の対応マニュアルを保護者に周知・説明している	93%	7%	0%	0%		
	15 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	90%	3%	0%	6%		
満足度	16 子どもは通所を楽しみにしている	77%	19%	3%	0%	・こどもは先生にわかりやすく教えてもらえるので勉強が楽しいと言っています。 ・自分から利用回数を増やしたいと言ってきた。 回数が増えた後も通所を楽しみにしてとても楽しく通所できている。 ・正直わからない。	お子さんの課題に応じて学習や活動後に振り返りを行い、自分の思いを伝えられたり、よかったことを確認したりできる機会を作っています。またお子さんの課題や目標に合わせながらも、楽しめる活動を意識して取り組んでいます。 ご家庭で保護者様に伝えようとおられるお子さんの思いは、職員とはまた違うかもしれませんが、それも大事なお子さんの思いです。保護者様が受け止めていただきながら、事業所・職員に伝えていただけたらありがたいです。
	17 事業所の支援に満足している	90%	10%	0%	0%	・子どもの特性や勉強の困りごとに対して適切に対応してくださるので感謝しています。 ・安心して利用している。	ありがたい言葉をたくさんいただいております。職員一同、大変励みになっております。皆様のご期待に答えられるよう、日々の研鑽を怠らず、専門性を高めていきたいと思っております。またお子さん・保護者様の思いを受け止められますように、振り返りや報告、面談などやりとりを欠かさないようにするとともに、伝えやすい体制づくりに努めてまいります。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和6年度放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月24日

職員数：常勤3非常勤1

事業所名：学びの広場じゃんぷ

回収数：常勤3非常勤1

回収率：100%

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	0%	グループでの公園遊びなど、室外・室内の活動を工夫して組み合わせ、スペース確保に努めました。	今後もグループ学習と自立学習、外出活動などを組み合わせ、スペース確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切である	75%	25%	0%		職員が利用者一人ひとりに対応できるよう人員配置しながら、個別学習や外出活動などさまざまな活動ができるよう職員全体で取り組んでいきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー配慮が適切になされている	100%	0%	0%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を、多くの職員が参画している	100%	0%	0%		一人でのPDCAサイクルでは思考が固着してしまう恐れがある（1対1支援では特に）ので、職員間で共有していきます。
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		貴重なご意見を職員全体で共有し改善に努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の通信やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	毎年ホームページで公表しています。	今年度もホームページにて公表致します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	0%	毎年外部評価を行い評価結果を業務改善につなげています。	今年度も外部評価を行い業務改善につなげてまいります。
適切な支援の提供	8 職員の資質を向上させるために、研修の機会を確保している	75%	25%	0%	利用者の事例を基に法人内で研修を重ね職員の支援向上に努めました。	今後も職員全体の支援向上のために研修の機会を設け研鑽してまいります。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成している	100%	0%	0%	アセスメントに基づき課題を分析して支援計画の作成をしました。	今後もアセスメントを適切に行い支援計画作成をしていく。ニーズや課題を保護者面談で確認共有してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%	0%	活動計画やスケジュールを常勤職員で話し合い、事前に全職員で共有しました。	非常勤職員も含め、活動計画やスケジュールで意見を集められる機会を作っていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定している。	特に休日や長期休暇については、平日にできない活動（外出や調理など）を計画していく。
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	0%		今後は職員全員ができるだけ早く周知できるようLINEの活用して参ります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
18 定期的に事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%			
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%	0%	0%			

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に最もふさわしいものが参画している	100%	0%	0%		
	21 学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	0%		
	22 就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている					
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	100%	0%	0%		
	24 日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	100%	0%	0%		
	25 子育て支援として、保護者に対して助言・指導（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	100%	0%	0%		
	26 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	27 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている					
	28 子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
29 定期的に通信等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	50%	50%	0%		年3～4回ほどの通信の作成を検討するなど、より具体的に活動の内容などがわかる発信方法を考えてまいります。	
保護者への説明責任等	30 個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	31 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	32 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%		
	33 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	本年度2回の避難訓練を実施した。同時に保護者とのLINEの送信確認も行いました。	今後も年2回の避難訓練を実施しています。
	34 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子ども状態を把握している	100%	0%	0%		
	35 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	自立支援センターより講師依頼をして虐待防止の研修を行いました。	今後も外部からの講師派遣による研修と毎月の法人全体で虐待防止研修をしていきます。
非常時等の対応	36 身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	100%	0%	0%		
	37 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%		
	38 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		ヒヤリハット事例に記録を残し職員全体で共有し、事故防止に努めてまいります。

令和6年度 自己評価と保護者評価について 第3者意見

評価日 : 令和7年3月24日

第3者評価者名 : 山川秀一

事業所名 : 学びの広場じゃんぷ

区分	評価	助言
環境・体制整備	じゃんぷが目指している取組が実現できるよう工夫されながら環境や体制を整えていると思います。特に外出活動やグループ活動を子どもの状態に合わせて組み合わせを工夫したり、個別の学習の取り組み方を考えたりできていると感じます。	通所している子ども達の多くは、予定の変更や見通しを持って取り組めるようになるには時間を要すると思います。できるだけ小さな変化で対応できる経験を大事にしてほしいと同時に、時間がかかりながらも伸びている姿や生活の変化に対応している姿をゆっくり見ていける体制を望みます。
適切な支援の提供	支援を集団体制で計画し実践されていると感じます。一人一人の発達や特性に合わせて考えることやその都度新しい子どもの通所が増える中で計画を見つめながら取り組むことは難しいと思いますが、支援の内容と質を減らさないよう努力されています。読み書きのアセスメントにも取り組まれている的確な支援につながっていると思います。	個別と集団の2つの取り組みがバラバラでなくどちらにも表れる成長を見つける視点はじゃんぷでは分かりにくくなる予想されます。(これまで個別の取組を重視してきたので) 集団で遊んだり取り組んだりする中で見せる子ども達の姿と個別に取り組む場面での姿の中で共通して見せる変化を大事にしてほしいと思います。
保護者への説明等	保護者との連携や子どもの変化の様子について日常的に伝えられていて、保護者と一緒に子ども達の生活を大事にしていこうとする視点があると感じます。学校生活はその都度変わります。学校でのスケジュールや様子の変化に対応されていると思います。	学校生活と家庭生活を結びつける役割になると思います。保護者が悩んだり困ったりしていることが相談しやすい環境づくりや情報提供を継続して大事にしてほしいと思います。
その他	厚労省の見直し等について対応されて取り組まれてきたと思います。今後も全国的な動向について関心を持ちながら取り組んでください。	